

第6次福島市総合計画の推進体制図

2019年度(令和元年度)

2020年度(令和2年度)

市民

総合計画Yu-Me(ゆめ)会議(市民ワークショップ)

【Yu-Me(ゆめ):you_make_together(ユ-メイクトゲザー、あなたと一緒に作る)、夢や希望のもてるまちにする総合計画】

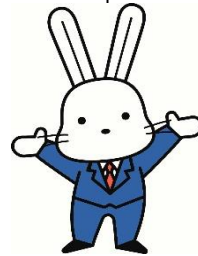
・・・学生や無作為抽出、公募による市民等で構成(100名)し、対話により多様な意見を出し合う。

市民参画アドバイザーは市民参画によるまちづくりの専門家で、対話しやすい場となるよう、進行やコーディネートを担当。

市民参画
アドバイザー

【2019年度:6/22、7/27、8/10、9/7、10/12 土曜日】

○「将来どのような福島市になると良いか?」、「福島市の強みや弱みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して意見(キーワード)などを出し合います。



【2020年度】

○「どのような取り組みをすると目指す姿に近づくか?」、「力を入れていくべき取り組みは?」など、各ワークショップのテーマに応じた対話を通して総合計画の案をより良いものに仕上げます。

有識者

ふくしま新ステージ有識者懇談会

【震災から10年、「その先」へ向けて県都福島市が目指す姿を描く総合計画】

・・・経済や産業、報道などの各界の代表等で構成(13名)し、専門的な知見から議論。

【2019年度】

○市が本市の現状や課題などの情報を提供し、意見を収集します。

○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2020年度】

○市が目指すべき将来の姿や政策の柱などの情報を提供し、意見を収集します。

○策定委員会や有識者懇談会の内容をフィードバックします。

【2019年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(将来構想)や政策の方向性など、総合計画の根幹となる部分を中心に議論し、助言や提言を行います。

【2020年度】

○本市が目指すべき将来のまちの姿(基本目標)などを実現するための重点施策や施策の方針などを中心に議論し、助言や提言を行います。

【2019年度～2020年度】

○市がYu-Me(ゆめ)会議の意見などを踏まえて作成した総合計画素案などを提示し、意見を伺います。

行政

総合計画策定委員会・幹事会・ワーキンググループ(庁内組織)

・・・Yu-Me(ゆめ)会議や有識者懇談会の意見などを踏まえ、総合計画の原案を策定。